授業支援ボックス

教育の質の向上を図る紙文書とLMS(Learning Management System)の連携ソリューション

学生のモチベーション向上と授業の効率化を両立

授業支援ボックスは、テストやレポート、出席票などの紙文書をスキャンし、学習支援システム（LMS：Learning Management System）に登録するシステムです。
採点結果をApeosPortシリーズでスキャンするだけでLMSへの一括登録を行うことができ、採点結果一覧の作成に関わる教員の手間の軽減と、スピーディーなフィードバックによる学生のモチベーションの向上に寄与します。

このようなお困りごとはありませんか？

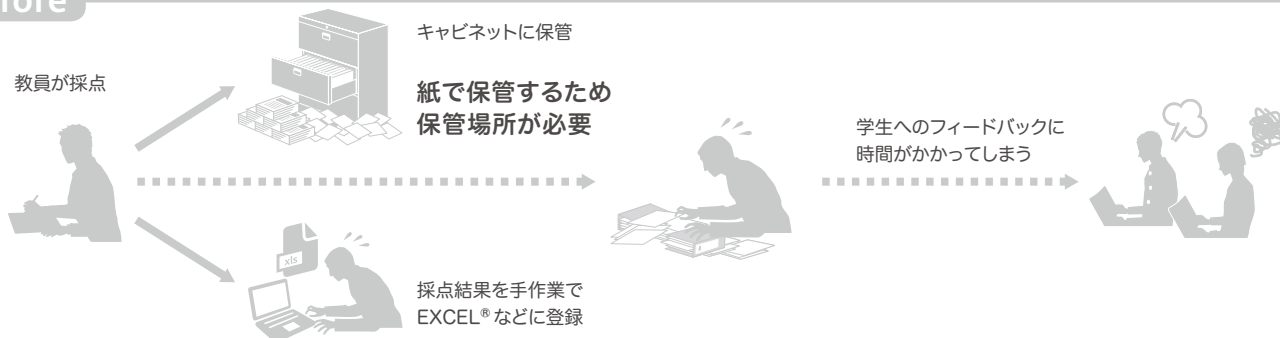
- 回収した答案用紙のソートや採点結果のフィードバックに時間がかかる
- エビデンスとして保管するため採点結果の保管スペースが必要、紙の保管の煩雑さを解消したい
- 採点結果を電子データに変換して学生毎にLMSに登録するのは時間がかかる
- LMSを導入したが、活用度が低い

解決策をご提案します。

省力化
フィードバックにかかる時間の削減
採点に関わる教員の工数削減

- 手書きの出席票による出欠確認
- テスト・レポートのソート、集計時間の短縮
- 点数転記ミスおよびチェック漏れの削減

増力化
きめ細かいフィードバックにより授業の質の向上

- タイムリーなフィードバックによる学生のモチベーション向上
- 教員の LMS 利用者拡大による授業の質の向上
- 紙・電子の学習成果は LMS に一元化可能

手書き文書をLMSに格納

テストやレポートにおいては、数式や記号を用いる場合など、手書き文書での回答・採点がふさわしい場合が多くあります。授業支援ボックスでは、紙のテストやレポートを複合機でスキャンするだけで、簡単にLMSへ登録することが可能です。

集計用の専用フォーム

プリント出力文書の背景に、コード情報を目立たせずに埋め込み（MISTCODE*）、専用フォームを、複合機で印刷・検出できるのが特長。紙の文書と、文書管理システムや業務システムを連携させることができます。フォームは出席票・テスト・レポートを用意しています。

*Micro-dot Iterated and Superimpose Tag CODE

手書き認識

視覚情報処理の仕組みを利用し、手書きされた文字を認識する技術を開発しました。人間の脳の働きと同じように、学習することで認識率を高め、自由に手書きされた文字や異なる言語でも認識できるようになっていきます。きれいに整った形の文字に対してはもちろん、癖があるなどの読みにくい文字に対しても、一般の認識装置に比べて高い認識率を誇ります。

①出席票やテスト用紙をプリントアウト

②学生が出席確認 / テストの実施

学生

③採点結果をスキャン

教員

スキャン画像ファイルと
得点一覧表作成

授業支援ボックス

教員

④スキャン画像と得点一覧を
ダウンロードして確認

⑤学生ごとに
分割された
PDF を登録

LMS

⑥採点結果を
確認

学生

授業支援ボックスの主な仕様

学習管理システム	Sakai CLE Ver 2.7/2.9 *1 Moodle Ver 2.5/2.6/2.7 *1 WebClass *1 *2 その他の LMS *1		
対象機種	ApeosPort-V C7780/C6680/C5580 ApeosPort-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275 ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 *3 ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 *3 ApeosPort-IV 7080/6080/5080 ApeosPort-IV 4070/3070		
クライアントPC	OS	Windows	・Microsoft® Windows Vista®日本語版（32ビット/64ビット）[SP2] ・Microsoft® Windows® 7 日本語版（32ビット/64ビット）[SP1] ・Microsoft® Windows® 8 日本語版（32ビット/64ビット） ・Microsoft® Windows® 8.1 日本語版（32ビット/64ビット）
		Mac OS	Mac OS X 10.6/10.7 OS X 10.8/10.9
	Web ブラウザー	Windows	・Windows® Internet Explorer® 8 (32 ビット /64 ビット) ・Windows® Internet Explorer® 9 (32 ビット /64 ビット) ・Windows® Internet Explorer® 10 (32 ビット /64 ビット) ・Windows® Internet Explorer® 11 (32 ビット /64 ビット)
		Mac OS	Safari 5.1/6.1/7.0 *4
	Microsoft® Office	Windows	・OS が Windows の場合、Microsoft® Office Word 2007 *5 [SP2]/2010[SP1]/2013
		Mac OS	・OS が MacOS の場合、Microsoft® Office Word for Mac 2011
	プリンタードライバー		・OS が Windows の場合、ART EX ドライバー ・OS が MacOS の場合、Mac OS X 用プリンタードライバー
メールサーバー	SMTP		RFC821、RFC822 に準拠していること
	符号化方式		MIME Version 1.0（Base 64）
	POP		Version 3（RFC1939 に準拠）（POP2 に準拠）
フォーム	用紙サイズ		出席票：A4、A5、テスト・レポート：A3、B4、A4
	用紙枚数		出席票：1 ページ テスト・レポート：9 ページ /9 枚（片面）、9 ページ /5 枚（両面）
	プリント面		出席票：片面、テスト・レポート：片面 / 両面
	スキャンの読み取り面		片面 / 両面
	埋め込みコード		MISTCODE/QR コード*6
	学籍番号桁数		5 ～ 12 桁

*1 LMSのサポートバージョンおよび対象のLMSについては、当社公式HPをご確認ください。
http://www.fujixerox.co.jp/product/mf_etc/class_box/spec.html
*2 WebClassは、日本データパシフィック（株）の登録商標です。
*3 外部アクセスキットが必要です。
*4 集計結果ファイルのダウンロードのみ可能。
*5 Microsoft® Windows® office2007では、フォームに対して図形機能は使用できません。
*5「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

SBx 2

インターフェース	USB 2.0 x 4 LAN x 2 Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
大きさ	幅 205 mm x 奥行き 220 mm x 高さ 45 mm
質量	1.7 Kg
電源	入力電圧：DC19V 入力電流：3.7A
専用AC アダプタ単体定格	入力電圧：AC100V-240V 入力周波数：50/60Hz 共用 入力電流：1.5A 出力電圧：DC19V 出力電流：4.74A DC 出力ケーブル長：約 1.8m
専用AC コード定格	定格電圧：AC125V 定格電流：7A ケーブル長： 約 1.8m
使用環境条件	温度：5 ～ 35 ℃ 湿度：20 ～ 80% ただし結露がないこと

※ 必ず専用ACアダプターを使用すること。
※「SBx 2」とは、本商品のハードウェア筐体の名称です。

価格

商品名	標準価格
授業支援ボックス	550,000円
SBx 2 取り付けキット	30,000円
搬入設置調整料金	9,000円
月額保守料金	3,300円 / 月

* 表記価格は全て税別価格です。

搬入設置料金に含まれるカストマーエンジニアの作業範囲
・ネットワーク設定
・複合機への接続
・LMS設定/フォーム設定は作業範囲に含まれません。
※LMSへの接続確認は行いません。

〈安全にお使いいただくために〉
●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●表示された正しい電源、電圧でお使いください。●アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電する恐れがあります。

富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
Tel 03-6271-5111
http://www.fujixerox.co.jp/

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは
お客様相談センター 0120-27-4100
受付時間:土、日、祝日および当社指定休業日を除く9時～12時、13時～17時。フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
※お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

この印刷物は環境に配慮した用紙を使用しています。この印刷物の内容は2014年10月現在のものです。 DGE-1244 1310-3P